

2024 年国内事前会合に向けて

1. プログラム委員会の状況

プログラム委員応募者：加藤、立石、前村、山崎

参考: (igf2021:372) プログラム委員会の進め方(案)

	内容	備考
	T1 プログラムの大枠設計	
	T1-1 イベントの色付け	[上位組織 = 活発化チームの仕事]
	T1-2 イベント全体構成	
	T2 公募セッションの募集・決定	
	T2-1 公募要領作成	
	T2-2 公募	
	T2-3 評価委員会の設置	
	T2-4 評価	
	T2-5 合格提案のフォロー	
	T3 公募セッション以外のセッションの決定・登壇者決定	
	T3-1 ゲストスピーチ 1～s	
	T3-2 企画セッション 1～u	
	T4 各セッションが成功するよう個別セッションの設計・開発を支援	

2. スケジュール案

- イベントの位置づけの決定 本日
- プログラム委員会の始動 本日
- テーマ決定 8月中
- テーマセッション公募および選定 9月中
- キーノート／企画セッション構築 10月中
- 本番 11月5日の週

3. 参考: IGF2022 事前会合「日本インターネットガバナンスフォーラム 2022」の概要

- 開催趣旨、開催概要、プログラム <https://japanigf.jp/meetings/2022-igf2023>
- セッションサマリー <https://japanigf.jp/meetings/2022>

4. イベントの位置付け [T1-1 イベントの色付け]

- グローバルの IGF の国内版（似たテーマを積極的に扱う）か、日本独自のイベント（日本固有のテーマを積極的に扱う）か？
 - 2023 年は前者だった。2022 年までは後者。
 - 公募セッションは、提案する人の関心に沿ったもの（日本のローカルコミュニティで重要な論点）にする。グローバルで話題になっていることも、企画セッションなどで拾うようにもする。
 - プログラム委員会としては後者としたい（2022 年のフォーマットに戻す）。
- NRI としての見せ方
 - NRI の規定により、少なくともセッションは公募する必要がある。テーマを公募する義務は規定されていない。

5. 全体テーマ

- 設定するか？→プログラム委員会では設定したほうがよさそう、となった
- 設定するとして、そのテーマにどのような位置づけを与えるか？
 - 企画セッションや、公募セッションの内容を、テーマに合わせるのか
 - テーマに関連しないものは認めない >>> テーマに関連しなくてもよいが、そういうものを優先する、までのどこを想定するか？
 - 「インターネットガバナンス」では通じないので、日本人の気を引くようなテーマがよいか？
 - マルチステークホルダーでは IGF に縁が遠い人にはピンとこないので、以下のような幅広いものとする
 - AI 時代のインターネットとデジタル社会
 - AI 時代のインターネットガバナンス
- 設定方法
 - 公募する
 - 活発化チームで決める
 - プログラム委員会でも方向性を出した上で活発化チームに選んでもらう→第1回プログラム委員会ではこの線となった
 - プログラム委員会だけで決める

6. セッション公募

- 10月頭には選定が終わるようにする
- 公募フォームに登壇希望日を書かせるようにする

7. セッション例

- 実積さんの米国体験記

- 前村さんの AFRINIC の話
- 立石さんのウズベキスタンのユース話
- ステークホルダー分類／線引きに関して
- 去年の事前会合・IGF 京都・報告会に参加した人に話してもらう
- 総務省の体制が変わったので挨拶をお願いする
- 村井さんに話してもらう？ Vint？
- 海外の人にビデオレターなどで登壇・挨拶してもらう